

H25年度修学旅行報告会

天童市立長岡小学校第6学年

H25. 7. 18

修学旅行のねらい

- * 社会科学習の一環として、国会議事堂や日光東照宮を見学することにより、文化や歴史にふれる。

学び

- * 班の友だちと協力して、自主的に計画を立て、見学したり行動したりする。

友情

- * 社会の一員として常識ある行動を学ぶ。

マナー

学習活動全体計画



準備活動

- 実行委員会立ち上げ
- スローガン決定
- 班, 係の編成
- 班別研修の計画



現地での活動

- 本物を見て学ぶ
- 友だちとともに活動する
- 公共の場で活動する



振り返り

- 班での振り返り
- 学年全体での振り返り
- 実行委員会での振り返り

様々な学習活動・日常生活へ

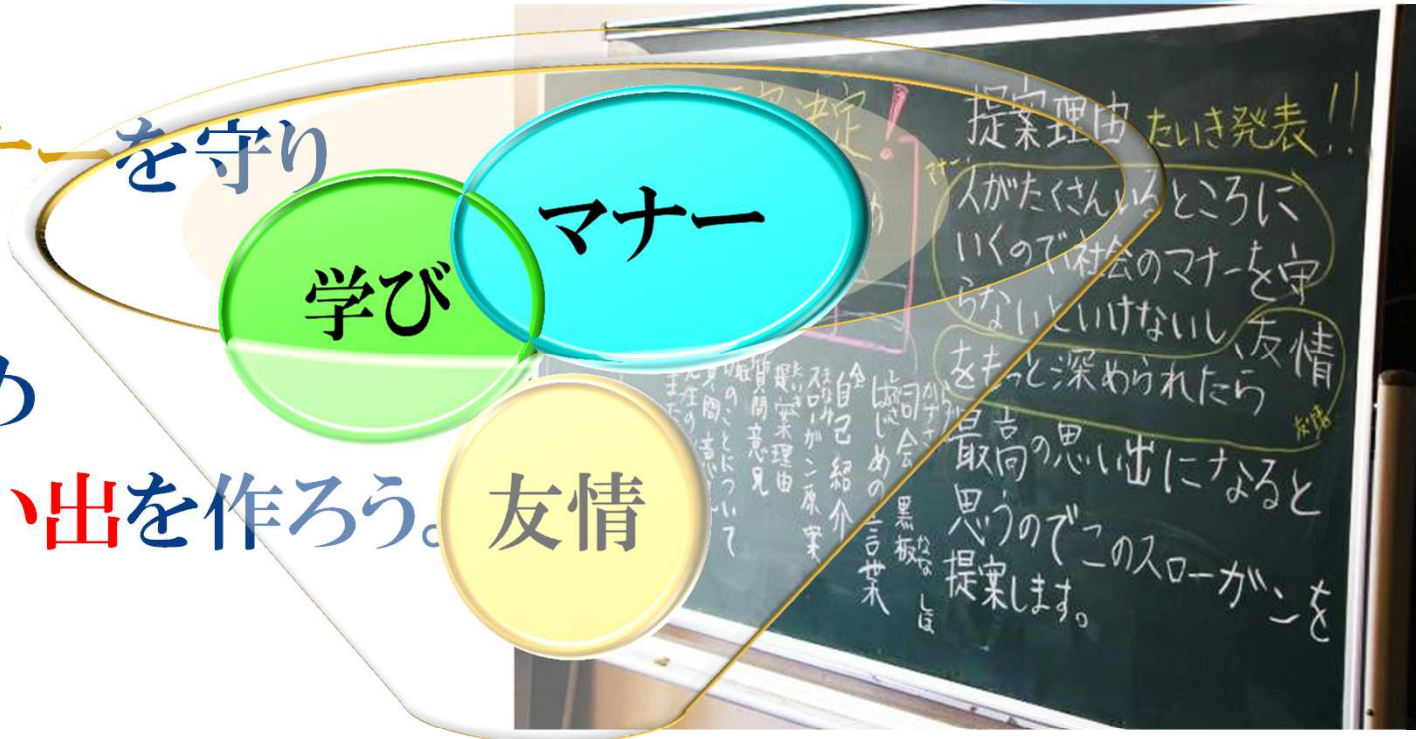
子どもたちの考えたスローガン

社会のマナーを守り

楽しく学び

友情を深め

最高の思い出を作ろう。



「よりよい自分であろうとする思い」→
「楽しく充実した時間」→「最高の思い出」



事前活動

- 学年会議 (スローガン, 班の決め方)
- 班別研修, 班会
(計画, 移動の仕方, 公共の場での過ごし方)
- 係会

学年会議

*まれに見る, 学年オープンでの班



これまでの学年での成功体験がたくさん
積み重なった!?(宿泊学習, よつばF
など)

ぼくたち・わたしたちは, 案外誰とでも
一緒にやっていけるんだよ。

班別研修, 班会

*長岡小初の子どもたちだけでの
地下鉄移動(上野~浅草間)



期待(初めてのこと)と不安(自分たち
だけで)が交錯しながらも, 「やってみよう」
と前向きな気持ち。

一人一人が自分ごととして活動に取り組
まなければならない気持ちが高まる。
(人任せにしないことが最大の協力)

現地での活動



公共の場の過ごし方(電車内, 見学場所, ホテル内)

- 学校とは違う。自分たちだけじゃない。「小学6年生の大人」
- 「声の大きさ」「周りの状況」「各場所での決められたルール」を判断し, 実行する。



本物を見て学ぶ

- 教科書だけではわからないリアル感。
「これ教科書さ載ってた」
- 「面白い・楽しい」(興味) → 「もっと知りたい」(探求)



班として行動

- どんな時でも班で行動できた。(声をかける・待つ・探す)
- 一人も行方不明者を出さない。
(5年生に今年の活動を引き継ぐ)

振り返り



共通体験したから
こそわかる、友だち
の思いや考え。

「できた」「できなかった」を考え、これからの
生活に活かす。
よりよい自分へ。



子どもたちの振り返りより

- * ぼくは、歴史が好きで、特に徳川家康に興味がありました。ぼくは、行ったのが初めてで興奮しました。徳川家康は、とても偉大な力をもっていることがわかりました。

興味・関心から学びへ

- * ぼくは、日光江戸村で班のみんなと一緒に行動できるか心配でした。ぼくが班の中で一番はしゃぐから、はしゃいでるうちに班の人たちがどこかに行ってしまうかもしれないから、できるだけ騒がないようにしようと思いました。～中略～でも、地獄寺ではしゃいでしまって班の人に迷惑をかけてしまいました。

自己の内省→これからの生き方へ

- * 私は、班別研修をやる前、ちゃんと迷わずに電車に乗れるのか心配でした。H君が、ちゃんとついてきてくれるか。班のみんなが、まとまって歩いてくれるかが心配でした。～中略～私は、班別研修をやってみて、ちゃんとできたことが嬉しかったです。みんなも、ちゃんとまとまって歩いていたと思います。浅草でも、一人ともはぐれることもなく、行動できました。

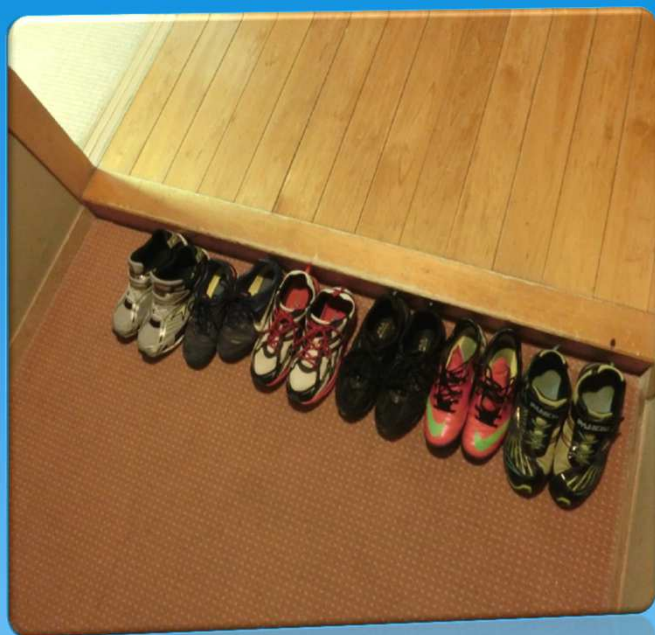
めあてを達成→自信, 次のステップへ

- * お土産を買いながら浅草寺に向かった。一人が店に入ると、私は、「みんな～、待って。この店見よう。」と言うと、「そうだね。」と返してくれて嬉しかった。私は心の中で、「意外とまとまってる。」と思いました。

周りを気にして声をかける→集団のまとまりを高める

終わりに・・・

・子どもたちの活動の端々に5年生の時の「宿泊学習」で学んだことがうかがえた。



5分前行動
完璧

班での
まとめ

友だちへの
関わり方

積んだ力・経験を使うこと

・思うだけ・考えるだけにとどまらず、自分で実際にやってみて感じたことやわかったことを持つ。



地下鉄で
の移動

英語でコミュ
ニケーション

一般社会の
マナー

新幹線・ホテル・見学地

為すことによって学ぶ

自信へ(成功体験)